

科目名 **ホスピタリティ実習**
Title Internship for Hospitality
科目区分 実習

准教授 石井 清輝 (イシイ キヨテル)

担当教員

担当教員との連絡方法

E-Mail

| 配当年次 | 単位区分 | 単位数 | 開講時期 |
|------|------|-----|------|
| 3 | 選択 | 4 | 前期 |

目的

宿泊業は、旅行業、運輸業などとともに地域を支える存在であり、ホスピタリティ産業として多くの観光人材が活躍している。その一方で、経営のあり方や実際の勤務内容、やりがい等について詳しく知る機会は少ない。そこで、観光政策学科では主に宿泊業に関心を持つ学生を対象として、観光地における宿泊業の勤務実習機会を提供し、実践知の醸成と社会人基礎力の養成に役立てている。実習プログラムについては、前期に15コマ相当の講義(事前現地実習を含む)を受講し、夏休み期間中に群馬県内の宿泊施設において約2週間の現地実習を実施する。このプログラムのガイダンスは前年度の12~1月に開催し、参加申請した者を対象として1月に選考面接を実施し、受講者を決定する。講義と実習の全てを通しての参加と毎日の実習日誌の提出が必須。

達成目標

講義で、ホスピタリティ産業の経営の仕組みや現場の役割、社会に出る前に必要な社会人基礎力の要素、実習先地域に関する知識等を理解した上で、約2週間の実務経験を通し、観光人材として、また社会人として行動できる基礎的な知識と態度を修得することを目標とする。

スケジュール

プログラム(予定)
確定プログラムは、オリエンテーション時に配布予定

1. オリエンテーション 学科長
2. 宿泊業での実習の意義と必要な社会人基礎力
3. ホスピタリティ心得(1)
4. ホスピタリティ心得(2)
- 5~9. 現地視察(5月を予定/1泊2日)
10. 実習先決定・課題制作について
11. 課題制作(1)
12. 課題制作(2)
13. 課題制作(3)
14. プレゼンテーション 学科長・観光政策学科教員
15. 実習準備・ガイダンス

夏休み期間中 現地実習(約2週間) 日程は6月までに決定

教科書・参考文献

教科書 なし

参考書 講義中に適宜紹介する

授業外での学習

講義では、実習に役立てるため、実習先地域や受入れ企業に関する課題探索とその解決手法についてのグループワークを行い、観光学科政策教員や実習先の担当者様に向けてプレゼンテーションを実施する。そのため、図書館等での資料収集やプレゼン資料作り等の授業外学習も必要となる。

評価方法

前期の受講状況、プレゼンテーションでの発表内容、実習日誌の提出状況、実習先の評価、事後レポートの提出によって総合的に判定する。なお、前期授業への受講状況や受講態度を学科実習運営委員会が審査し、実習への参加を許可しない場合や、実習日誌の提出状況や実習先での態度により、合格点を付与しない場合もある。

履修上の注意

本実習は、2年次後期において面接を受け、受講を許可された者のみ受講できる。面接を受けていない者は登録できないので留意されたい。